

## 春のアブラゼミ 第12日目 thatの用法②

組 ( ) 番号 ( ) 氏名 ( )

The will to learn seems capable of triumphing over the most astonishing obstacles. It can triumph over fatigue. There is abundant evidence **that** one can go on and on with the most exacting mental tasks with astonishingly little decline in efficiency. Even after a job has become acutely distasteful, it still remains possible to go on doing it well. Indeed, the suggestion has been made in highly responsible quarters **that** there is no such thing as mental fatigue at all, in the sense of sheer inability to produce any more results as a consequence of continuous work. When we want to stop we soothe our consciences by saying that we can't continue.

### 和訳

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

### 参考

- \* the will to learn = 向学心、知識欲、学問への好奇心。これは a book to read と同じ。
  - \* be capable of A = 「Aができる、Aする能力・才能がある」
  - \* triumph over A = 「Aに打ち勝つ」。overは「克服・勝利のover」。
  - \* astonishing obstacles = 「思いがけない障害」
  - \* exacting A = 「骨の折れるA、厄介なA、面倒なA」 ← exact(形)「正確な→精密な→厳しい」
  - \* mental tasks = 「精神的作業、頭脳労働」
  - \* acutely distasteful = 「とても不愉快な」
  - \* highly responsible quarters = 「きわめて信頼できる筋、方面」
  - \* mental fatigue = 「精神的疲労」
  - \* suggestion = 「意見」「注意」
- ★ちゃんと「スーパー単語プリント」に書き込んでいって、いつも見直せるようにしておきなさいよ！

### 英文の読み方

1. 前置詞＋名詞は他の部分から切り分けて形容詞か副詞かを考える。
2. and、but、orが出てきたら直後に注目し、直前に同じ形を探す。
3. a、an、theが出てきたら名詞を探す。
4. 助動詞の後ろには動詞がある。be～toや～toを助動詞考えれば簡単に動詞が見つかる。
5. 文中副詞の後ろには(一般)動詞がある。文中副詞のほとんどが「-ly」の形をしている。
6. 文頭に前置詞＋名詞があり、その直後に動詞があれば、完全逆転型の倒置。
7. 文頭に否定語があり、直後が疑問文の並び方なら、疑問文型の倒置。
8. 省略は「同形反復」に注目すればすぐ分かる。
9. A of Bが出てきたら「BがAする」「BをAする」「Bの持つA」「BというA」「AのB」を特定する。
10. that、-ing、toが出てきたら「名詞」「形容詞」「副詞」を特定する。、-ingのコンマ(,)の省略に注意。

### 注意点

今回も引き続き that の勉強です。前回と同じまとめを載せておきます。2つ目の that はちょっと難しいよ！

■ 僕らは彼がそこへ行ったことを信じている。(従属接続詞の that) [ことシリーズ]

We believe **that** he went there.

■ 僕らは彼がそこへ行ったという事実を信じている。(同格の that)

We believe the fact **that** he went there.

■ 僕には今日読む本が一冊もない。(関係代名詞の that)

I have no book **that** I can read today.

■ 僕はあなたに会えて嬉しい。(理由・原因の that) [なぜ？ どうして？ の that]

I am happy **that** I can see you.

■ 僕はとても疲れていてこれ以上歩けない。(結果・程度の that)

I am so tired **that** I can't walk any more.

■ 僕が愛しているのは君だ。(強調構文の that)

It is you **that** I love.

■ 彼がそこへ行くべきだという点で、僕らは合意した。(熟語の that)

We agree in **that** he should go there.

<見取り図>

・ The will to learn seems capable of triumphing over the most astonishing obstacles.

The will	seem capable of	triumphing over the most astonishing obstacles
主	できる	何を

to learn

- \* seem capable of ← be capable of 「できる、能力・才能がある」。
- \* triumph over 「打ち負かす、打ち勝つ」
- \* astonishing obstacles 「思いがけない障害、驚くべき障害」

【全訳例】 向学心があれば、思いがけない障害も乗り越えることができるようだ。

・ It can triumph over fatigue.

It	(can) triumph over	fatigue
主	打ち負かせる	何を

・ fatigue 「疲労」

【全訳例】 向学心は、疲労感をも打ち負かすことができる。

・ There is abundant evidence that one can go on and on with the most exacting mental tasks with astonishingly little decline in efficiency.

There	is	abundant evidence
B	=	A

=that one can go on and on with the most exacting mental tasks

one	(can) go on and on with	the most exacting mental tasks	with astonishingly little decline in efficiency
主	どんどん続けられる	何を	

- \* evidence that ~の that の用法は同格。
- \* abundant evidence 「沢山の証拠」
- \* go on with 「進める、続ける」
- \* exacting 「骨の折れる、厄介な、面倒な」 ← exact(形) 「正確な→精密な→厳しい」
- \* mental tasks 「精神的作業、頭脳労働」
- \* efficiency 「能率、効果」
- \* in efficiency の in は「視点・観点の in」だから、「効率という点で」の意味。
- \* with little decline in efficiency で「効率がほとんど落ちることなく」

【全訳例】 (向学心があれば) 驚くことに仕事の効率か少しも落ちることなく、非常にやっかいな頭脳労働をずっとやり続けることができる。

・ Even after a job has become acutely distasteful, it still remains possible to go on doing it well.

Even after	a job	has become	acutely distasteful
------------	-------	------------	---------------------

it	(still) remains	possible
A	=	B

to go on doing it well

- \* after S+V は「SがVした後で」、even after S+V なら「SがVした後でさえ」
- \* acutely 「ひどく」
- \* distasteful 「嫌な、不愉快な」
- \* 「A remain B」は A is B と同じ第2文型だから、It is possible と考えて読むと良い。
- \* 最初の it は形式主語で、to 以下がその真主語、2つ目の it は job。

【全訳例】 (向学心があれば) 仕事がひどくいやになってしまっても、それでもなお、その仕事をちゃんと続けることが可能なのである。

• Indeed, the suggestion has been made in highly responsible quarters **that** there is no such thing as mental fatigue at all, in the sense of sheer inability to produce any more results as a consequence of continuous work.

Indeed			in highly responsible quarters
the suggestion	has been	made	
A	=	Bされる	

=that+文

There	is	no such thing	at all
B	=	A	in the sense of sheer inability

as mental fatigue

to produce any more results  
as a consequence of continuous work

- \* indeed 「本当に、実際には」
- \* suggestion はこの場合「示唆」とか「暗示」よりも「意見」や「注意」の方が日本語的。
- \* highly responsible quarters 「きわめて信頼できる筋、方面」
- \* in the sense of A で「A という意味で」。ここでは「～の様な」とすると日本語的。  
彼女は人のことを配慮する**という意味で**、能力に欠ける。  
=彼女には人のことを配慮する**様な**能力はない。
- \* sheer inability は「完全なる無能力」よりも、動詞化して「まったく何もできないこと」
- \* as a consequence of ~ 「～の結果として」「～したのに」
- \* mental fatigue で「精神的疲労」。
- \* quarters that ~ の that の用法は「同格」。ただし、ちょっと離れた suggestion の説明になっていることに注意。同格だから「～という暗示・示唆」の訳語になる。
- \* sheer inability to produce は「生み出す無能力」よりも「何も生み出せないこと」
- \* continuous work は「連続的仕事」よりも、動詞化して「続けて仕事をする」として。as a consequence of A で「Aの結果」だから、「続けて仕事をした結果」となる。

【全訳例】実際に、仕事をずっと続けてきたのに、これ以上何の成果も生み出せない様な精神的疲労というものは絶対に存在しないという意見が、きわめて信頼のできる方面からあった。

• When we want to stop we soothe our consciences by saying that we can't continue.

When	we	(want to) stop	by saying that we can't continue
	主	やめる	
we	soothe	our consciences	
主	和らげる	何を	

• soothe 「なだめる、安心させる、和らげる、慰める」

【全訳例】もし止めたいのであれば、「もう続けられない」と言うことで、自分を良心の呵責から解放することができる。

＜解法＞

この英文のポイントも、that を見たときにそれが「名詞」、「形容詞」、「副詞」のどれなのか判断できるかどうかです。that の直後には2つとも完全文が来ています。だから、この that は「ことシリーズ」か「同格」です。そして、2つとも直前の名詞を説明しているのが分かります。

There	is	abundant evidence
B	=	A

=that one can go on and on with the most exacting mental tasks

【訳例】人はとても骨の折れる頭脳労働をずっとつづけることができる**という**たくさん例

the suggestion	has been	made	in highly responsible quarters
A	=	Bされる	

=that there is no such thing as mental fatigue at all ~

【訳例】そんな精神的疲労なんか**ないという**意見

だから、2つとも「同格」で「～という」の訳語が当てはまっていますね。そして、上の英語は「完全逆転型の倒置」になっているので、文が安定しています。でも、下の英語は主語に長い説明がついてしまっているため、このままでは頭でっかちの不安定なE T型であることが分かります。そこで、同格の that 以下を全部、文の後ろに回していますね。それによって、説明される the suggestion と、それを説明している同格の that 以下とが離ればなれになってしまいます。この英文の和訳の難しさはここにあります。